

かわさき市民アンケート 報 告 書

平成20年 3 月

川 崎 市

目 次

I 調査概要	1
II 調査回答者の属性	5
1 第1回アンケート回答者	7
2 第2回アンケート回答者	11
III 調査結果	15
① 第1回アンケートの結果	17
1 地球温暖化問題について	19
1-1 地球温暖化進行の実感度	19
1-2 地球温暖化が進んでいると思う理由	21
1-3 地球温暖化防止の意識状況	22
1-4 地球温暖化防止のために行っていること	24
1-5 地球温暖化防止のための行動を普及させる有効手段	26
1-6 エコドライブの認知状況	28
1-7 エコドライブの効果の認知状況	31
1-8 「エコちゃんず」の認知状況	33
2 ごみの収集・減量・リサイクルについて	34
2-1 普通ごみ収集日変更の事前認知状況	34
2-2 普通ごみ収集日変更の事前情報の取得先	37
2-3 ごみの出し方や資源物の分け方等に関する情報の入手方法(媒体)の希望	39
2-4 ごみの減量とリサイクルを進めていくために市が取り組むべきこと	41
2-5 レジ袋の受取り時に行っていること	43
2-6 ペットボトルの排出時に行っていること	45
2-7 廃棄物減量指導員制度・廃棄物減量指導員の認知状況	47
3 川崎市のおみやげについて	50
3-1 もらってうれしいと思った「おみやげ」	50
3-2 「おみやげ」を選ぶときに重要視すること	52
3-3 「川崎市のおみやげ」と思うものがあるか	54
3-4 「川崎市のおみやげ」と思うもの	57
3-5 「川崎市のおみやげ」のテーマとしてふさわしいもの	59
3-6 「川崎市のおみやげ」でアピールする将来の川崎市のイメージ	61
3-7 「川崎市のおみやげ」で「川崎らしさ」を表現する手段	64

4 こども文化センターについて	66
4-1 こども文化センターの利用状況	66
4-2 こども文化センターに対する要望	69
4-3 こども文化センターの運営内容の認知状況	71
4-4 こども文化センターの利用目的	73
4-5 こども文化センターの運営内容で充実した方がよいもの	75
5 町内会・自治会について	77
5-1 町内会・自治会への加入状況	77
5-2 町内会・自治会の中で参加している活動	80
5-3 町内会・自治会活動に参加していない主な理由	82
5-4 町内会・自治会に加入しない主な理由	84
5-5 町内会・自治会活動に期待すること	86
5-6 地域の活動を活性化し、住民の連帯感を生み出すのに大切なもの	88
5-7 地域活動の主体について	90
6 文化・芸術について	92
6-1 「文化」という言葉から思い浮かぶもの	92
6-2 文化に関する知りたい情報	94
6-3 文化に関する情報の入手方法	96
6-4-1 川崎市の文化事業の認知状況	98
6-4-2 川崎市の文化施設の認知状況	100
6-5 文化を振興し定着させていくために重要なもの	102
6-6 芸術家や文化にかかわる人などを育てたり、支援するために必要なこと	104
6-7 文化を振興していくことにより、私たちの生活や社会にもたらされる効果	106
6-8 文化に対する取組みの満足度	108

② 第2回アンケートの結果	111
1 定住状況について	113
1-1 居住年数	113
1-2 定住意向	115
1-3 転居意向の理由	118
1-4 転居先の希望(市内/市外)	121
2 生活環境の評価について	126
2-1 生活環境の満足度	126
2-2 総合的な生活環境の満足度	137
3 関心ごとと行動範囲について	141
3-1 関心を持っていること	141
3-2 行動範囲	144
4 市政に対する評価と要望について	149
4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと	149
4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	153
4-3 施策や事業の総合的な満足度	157
5 サービス産業に対する消費について	160
5-1 1か月間の市内での消費状況	160
5-2 1か月間の市内での消費状況の1年前との変化	167
5-3 家族や友人の1か月間の市内での消費状況	173
5-4 半年間の市内での消費状況	175
5-5 半年間の市内での消費状況の1年前との変化	182
5-6 家族や友人の半年間の市内での消費状況	188
6 歯の健康について	190
6-1 8020運動の認知状況	190
6-2 現在の歯の本数	192
6-3 現在の噛む力	194
6-4 歯の健康のために有効だと思うこと	196
6-5 使用している歯みがき剤の選択理由	198
6-6 歯みがき剤のつけ方	200
6-7 「歯の健康フェア」の認知状況	202
6-8 「歯の健康フェア」で参加したいと思うもの	203
6-9 「歯の健康フェア」の会場として行きやすい場所	205

7 広報活動について.....	207
7-1 「かわさき市政だより」を読んだ経験.....	207
7-2 「かわさき市政だより」で読んでいる記事.....	210
7-3 「かわさき市政だより」を読んでいない理由.....	212
7-4 「かわさき市政だより」をよりよいものにするための方法.....	215
7-5 広報掲示板から情報取得の有無.....	217
7-6 広報掲示板から情報を得ていない理由.....	219
7-7 川崎市ホームページの閲覧状況.....	221
7-8 川崎市ホームページの評価.....	223
7-9 川崎市ホームページで利用したことのあるメニュー.....	224
7-10 今後充実させた方が良くと思う機能.....	226
7-11 川崎市ホームページを見たことがない理由.....	228
8 建物の高さの制限について.....	230
8-1 高度地区の認知状況.....	230
8-2 居住地域について.....	233
8-3 高度地区の「良好な街並みづくり」への効果について.....	235
8-4 駅前や商店街などの街並みについての意見.....	237
8-5 「商業地域」や「近隣商業地域」に高度地区を指定することについて.....	240
9 タウンミーティングについて.....	242
9-1 タウンミーティングの開催の認知状況及び参加の有無.....	242
9-2 タウンミーティング開催情報の入手先.....	245
9-3 タウンミーティングに参加しなかった理由.....	247
9-4 タウンミーティングへの参加意向.....	249
IV 調査票.....	253

I 調査概要

1. 調査目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50 年度から毎年1回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年2回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称も新たに平成 18 年度から実施することとしたものである。

昭和 50 年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民生活に関するいくつかのテーマなどについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

2. 調査方法

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査の地域 | 川崎市全域 |
| (2) 調査の対象者 | 川崎市在住の満 20 歳以上の男女個人 |
| (3) 標本の抽出 | 住民基本台帳および外国人登録原票からの層化二段無作為抽出 |
| (4) 票本数 | 第1回 3,000 標本(平成 19 年 7 月抽出)
第2回 3,000 標本(平成 19 年 10 月抽出) |
| (5) 調査方法 | 郵送法(郵送配布－郵送回収・はがき督促を 1 回) |
| (6) 調査期間 | 第1回 平成 19 年 7 月 23 日(月)～8 月 8 日(水)
第2回 平成 19 年 11 月 1 日(木)～11 月 16 日(金) |

3. 調査項目

◎第1回アンケート

<調査のテーマ>	<問番号>
(1) 地球温暖化問題について	(問 1～問 6)
(2) ごみの収集・減量・リサイクルについて	(問 7～問 12－(1))
(3) 川崎市のおみやげについて	(問 13～問 19)
(4) こども文化センターについて	(問 20～問 23)
(5) 町内会・自治会について	(問 24～問 28)
(6) 文化・芸術について	(問 29～問 36)

◎第2回アンケート

<調査のテーマ>	<問番号>
(1) 定住状況について	(問 1～問 2－(2))
(2) 生活環境の評価について	(問 3～問 4)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 5～問 6)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 7～問 9)
(5) サービス産業に対する消費について	(問 10～問 13)
(6) 歯の健康について	(問 14～問 22)
(7) 広報活動について	(問 23～問 26－(4))
(8) 建物の高さの制限について	(問 27～問 31)
(9) タウンミーティングについて	(問 32～問 33)

4. 回収状況

	第1回	第2回
(1) 標本数	3,000 標本	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,447 人	1,309 人
(3) 有効回収率	48.2%	43.6%

5. 報告書の見方

- (1) 表、グラフのnまたは()の中の数字は、質問の回答者数を表す。
- (2) 百分率(%)の計算は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100.0%を超える。
- (4) 文、表、グラフは表示の都合上、項目名を省略して表現する場合がある。
- (5) 回答数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 標本誤差

標本誤差は次の式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数(川崎市の満20歳以上の人口)
 n=比率算出の基数(回答者数)
 p=回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は下記ようになる。

	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,447	±2.23%	±2.97%	±3.41%	±3.64%	±3.72%
1,309	±2.35%	±3.13%	±3.58%	±3.83%	±3.91%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
700	±3.21%	±4.28%	±4.90%	±5.24%	±5.35%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%

注/この表の見方

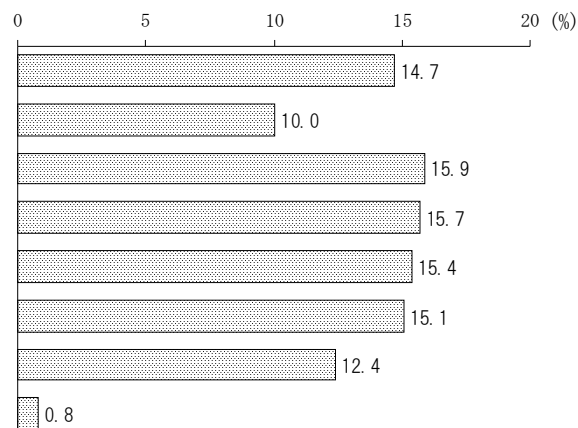
標本誤差とは、今回のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,447人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.64%以内(56.36%~63.64%)である」とみることができる。

Ⅱ 調査回答者の属性

1 第1回アンケート回答者

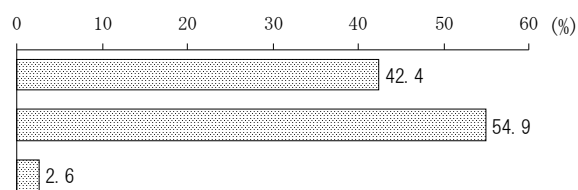
1 居住区

	基 数	構成比(%)
1 川崎区	213	14.7
2 幸区	144	10.0
3 中原区	230	15.9
4 高津区	227	15.7
5 宮前区	223	15.4
6 多摩区	219	15.1
7 麻生区	180	12.4
(無回答)	11	0.8
合 計	1,447	100.0



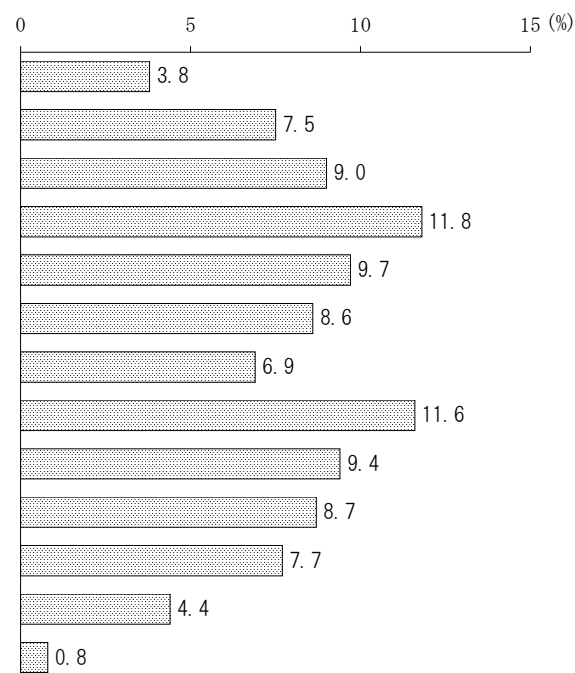
2 性別

	基 数	構成比(%)
1 男性	614	42.4
2 女性	795	54.9
(無回答)	38	2.6
合 計	1,447	100.0



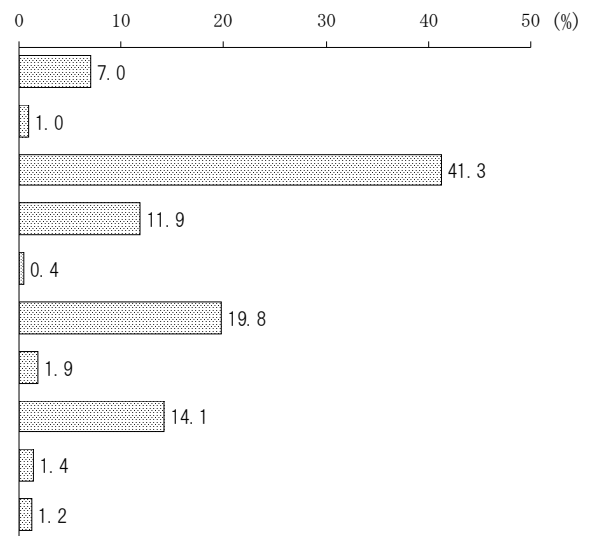
3 年齢

	基 数	構成比(%)
1 20～24歳	55	3.8
2 25～29歳	109	7.5
3 30～34歳	130	9.0
4 35～39歳	171	11.8
5 40～44歳	141	9.7
6 45～49歳	125	8.6
7 50～54歳	100	6.9
8 55～59歳	168	11.6
9 60～64歳	136	9.4
10 65～69歳	126	8.7
11 70～74歳	111	7.7
12 75歳以上	63	4.4
(無回答)	12	0.8
合 計	1,447	100.0



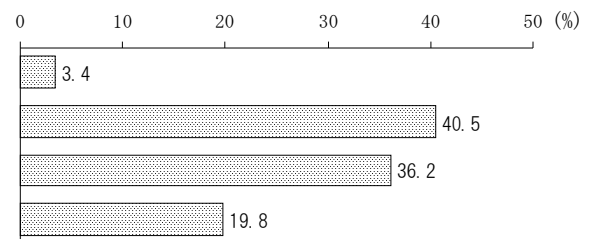
4 職業

	基 数	構成比(%)
1 自営業主	101	7.0
2 家族従業(家事手伝い)	15	1.0
3 勤め(全日)	598	41.3
4 勤め(パートタイム)	172	11.9
5 内職	6	0.4
6 主婦・主夫(家事専業)	286	19.8
7 学生	27	1.9
8 無職(年金生活者を含む)	204	14.1
9 その他	20	1.4
(無回答)	18	1.2
合 計	1,447	100.0

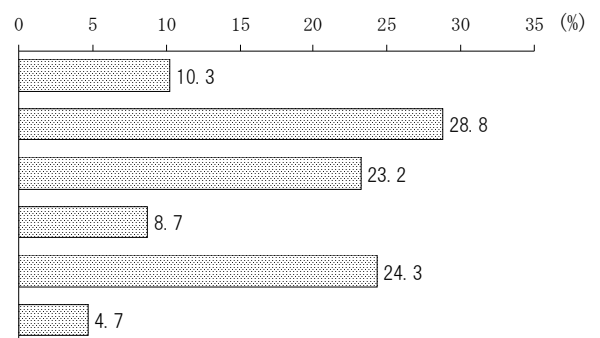


5 具体的な職業内容

	基 数	構成比(%)
1 農林漁業	4	3.4
2 商工サービス業	47	40.5
3 自由業	42	36.2
(無回答)	23	19.8
合 計	116	100.0

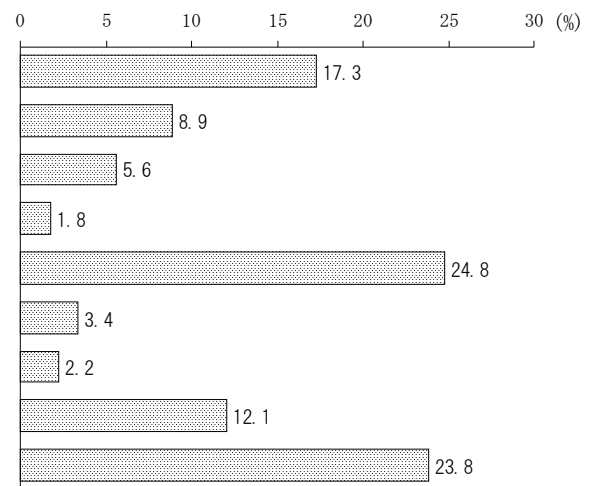


	基 数	構成比(%)
1 経営・管理職	79	10.3
2 専門・技術職	222	28.8
3 事務職	179	23.2
4 技能・労務職	67	8.7
5 販売・サービス職	187	24.3
(無回答)	36	4.7
合 計	770	100.0



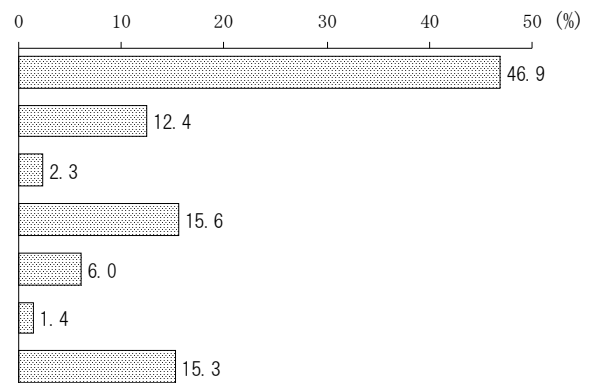
6 勤務先・通学先

	基 数	構成比(%)
1 川崎市内(お住まいと同じ区)	251	17.3
2 川崎市内(お住まいと別の区)	129	8.9
3 横浜市	81	5.6
4 神奈川県内(川崎市・横浜市以外)	26	1.8
5 東京都(23区内)	359	24.8
6 東京都(23区以外)	49	3.4
7 その他	32	2.2
8 通勤・通学はしていない	175	12.1
(無回答)	345	23.8
合 計	1,447	100.0



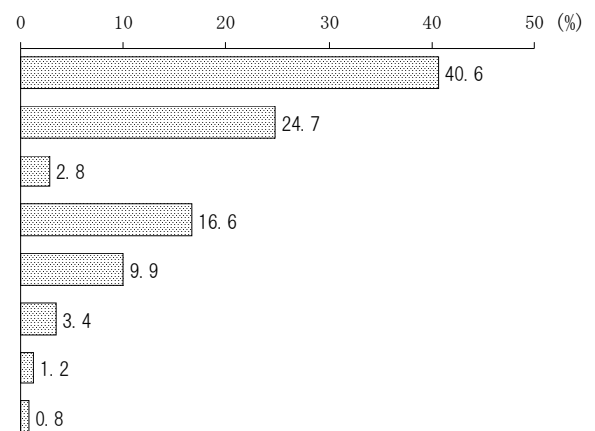
7 駅までの交通手段

	基 数	構成比(%)
1 徒歩	679	46.9
2 自転車	180	12.4
3 バイク(原付含む)	34	2.3
4 バス	226	15.6
5 自動車(送迎含む)	87	6.0
6 その他	20	1.4
(無回答)	221	15.3
合 計	1,447	100.0



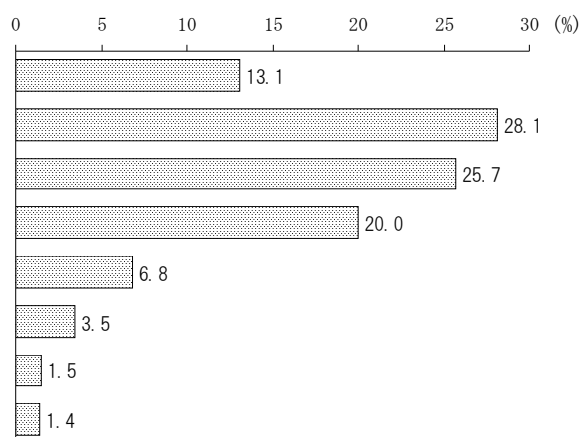
8 住居形態

	基 数	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	587	40.6
2 持ち家(マンション・団地)	358	24.7
3 借家(一戸建)	41	2.8
4 借家(マンション・団地・公営住宅)	240	16.6
5 借家(民間アパート・間借・下宿)	143	9.9
6 社宅・寮・公務員社宅	49	3.4
7 その他	18	1.2
(無回答)	11	0.8
合 計	1,447	100.0



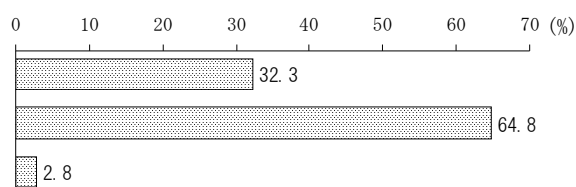
9 家族構成

	基 数	構成比 (%)
1 1人	190	13.1
2 2人	406	28.1
3 3人	372	25.7
4 4人	290	20.0
5 5人	98	6.8
6 6人	50	3.5
7 7人以上	21	1.5
(無回答)	20	1.4
合 計	1,447	100.0



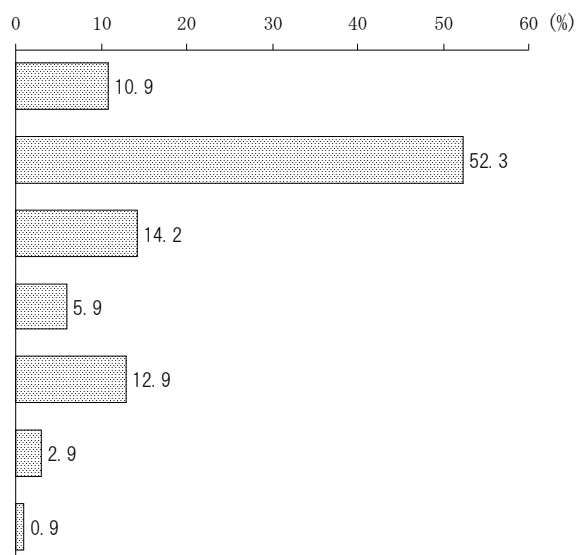
10 65歳以上の方との同居

	基 数	構成比 (%)
1 同居している	468	32.3
2 同居していない	938	64.8
(無回答)	41	2.8
合 計	1,447	100.0



11 地域環境

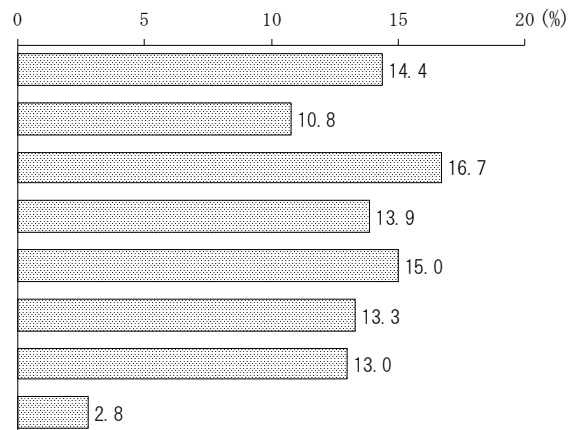
	基 数	構成比 (%)
1 オフィスビルや商業ビル、 商店などがある地域	157	10.9
2 古くから住宅が 中心となっている地域	757	52.3
3 新しく開発された住宅地域	205	14.2
4 住宅と工場が 混在している地域	86	5.9
5 周囲に田畑や山林などの 森が残されている地域	187	12.9
6 その他	42	2.9
(無回答)	13	0.9
合 計	1,447	100.0



2 第2回アンケート回答者

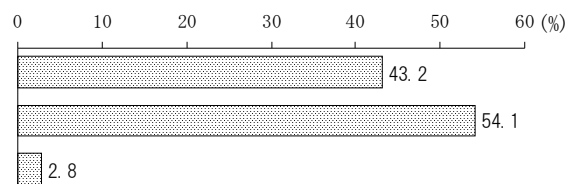
1 居住区

	基 数	構成比(%)
1 川崎区	189	14.4
2 幸区	142	10.8
3 中原区	218	16.7
4 高津区	182	13.9
5 宮前区	197	15.0
6 多摩区	174	13.3
7 麻生区	170	13.0
(無回答)	37	2.8
合 計	1,309	100.0



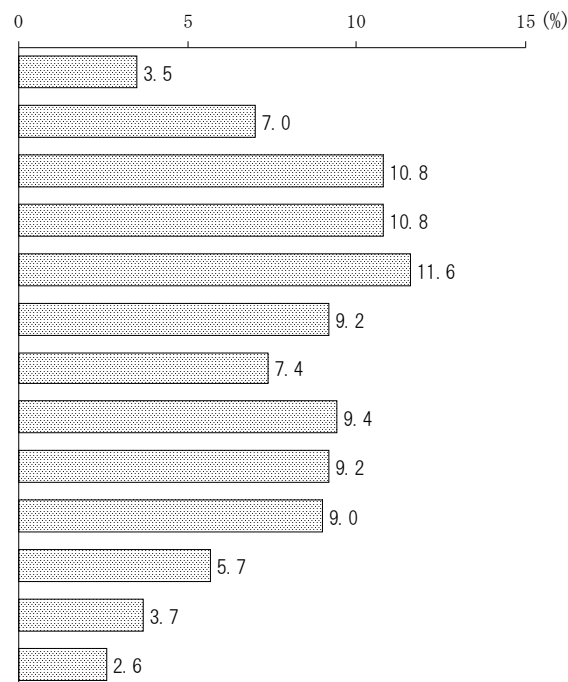
2 性別

	基 数	構成比(%)
1 男性	565	43.2
2 女性	708	54.1
(無回答)	36	2.8
合 計	1,309	100.0



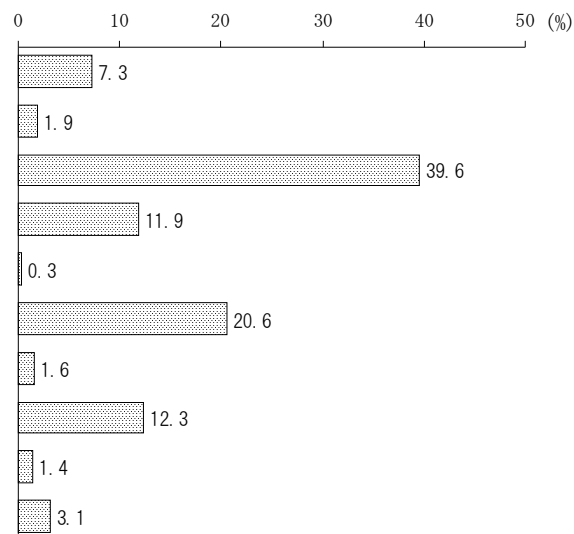
3 年齢

	基 数	構成比(%)
1 20～24歳	46	3.5
2 25～29歳	91	7.0
3 30～34歳	142	10.8
4 35～39歳	142	10.8
5 40～44歳	152	11.6
6 45～49歳	121	9.2
7 50～54歳	97	7.4
8 55～59歳	123	9.4
9 60～64歳	120	9.2
10 65～69歳	118	9.0
11 70～74歳	75	5.7
12 75歳以上	48	3.7
(無回答)	34	2.6
合 計	1,309	100.0



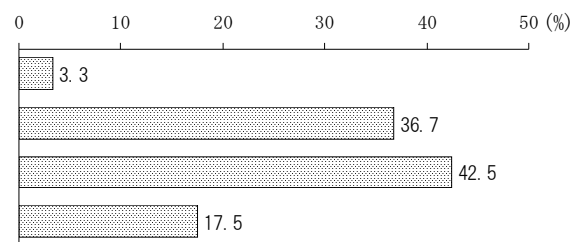
4 職業

	基 数	構成比(%)
1 自営業主	95	7.3
2 家族従業(家事手伝い)	25	1.9
3 勤め(全日)	518	39.6
4 勤め(パートタイム)	156	11.9
5 内職	4	0.3
6 主婦・主夫(家事専業)	270	20.6
7 学生	21	1.6
8 無職(年金生活者を含む)	161	12.3
9 その他	18	1.4
(無回答)	41	3.1
合 計	1,309	100.0

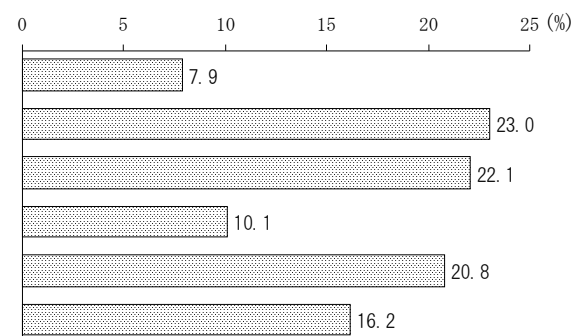


5 具体的な職業内容

	基 数	構成比(%)
1 農林漁業	4	3.3
2 商工サービス業	44	36.7
3 自由業	51	42.5
(無回答)	21	17.5
合 計	120	100.0

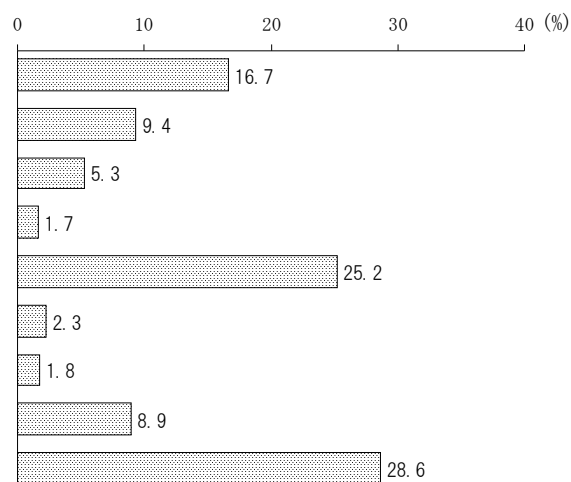


	基 数	構成比(%)
1 経営・管理職	53	7.9
2 専門・技術職	155	23.0
3 事務職	149	22.1
4 技能・労務職	68	10.1
5 販売・サービス職	140	20.8
(無回答)	109	16.2
合 計	674	100.0



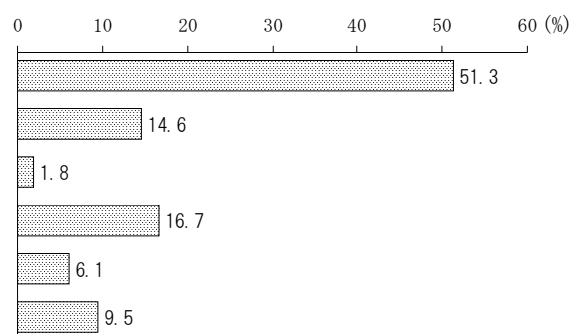
6 勤務先・通学先

	基 数	構成比(%)
1 川崎市内(お住まいと同じ区)	219	16.7
2 川崎市内(お住まいと別の区)	123	9.4
3 横浜市	70	5.3
4 神奈川県内(川崎市・横浜市以外)	22	1.7
5 東京都(23区内)	330	25.2
6 東京都(23区以外)	30	2.3
7 その他	23	1.8
8 通勤・通学はしていない	117	8.9
(無回答)	375	28.6
合 計	1,309	100.0



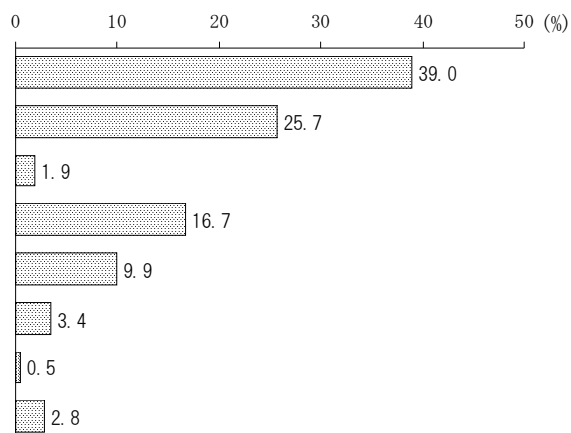
7 駅までの交通手段

	基 数	構成比(%)
1 徒歩	671	51.3
2 自転車	191	14.6
3 バイク(原付含む)	24	1.8
4 バス	219	16.7
5 自動車(送迎含む)	80	6.1
(無回答)	124	9.5
合 計	1,309	100.0



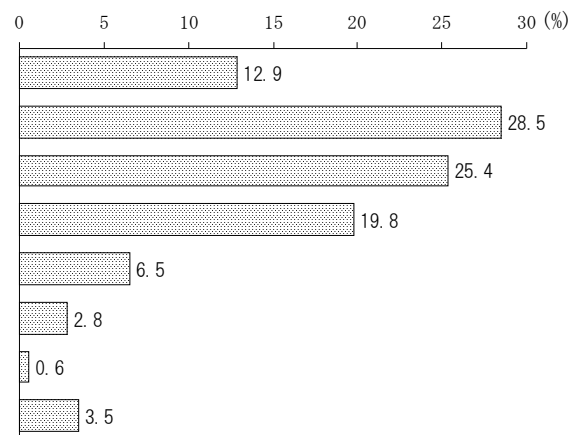
8 住居形態

	基 数	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	511	39.0
2 持ち家(マンション・団地)	337	25.7
3 借家(一戸建)	25	1.9
4 借家(マンション・団地・公営住宅)	219	16.7
5 借家(民間アパート・間借・下宿)	129	9.9
6 社宅・寮・公務員社宅	45	3.4
7 その他	6	0.5
(無回答)	37	2.8
合 計	1,309	100.0



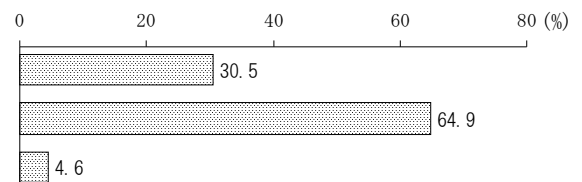
9 家族構成

	基 数	構成比(%)
1 1人	169	12.9
2 2人	373	28.5
3 3人	332	25.4
4 4人	259	19.8
5 5人	85	6.5
6 6人	37	2.8
7 7人以上	8	0.6
(無回答)	46	3.5
合 計	1,309	100.0



10 65歳以上の方との同居

	基 数	構成比(%)
1 いる	399	30.5
2 いない	850	64.9
(無回答)	60	4.6
合 計	1,309	100.0



11 地域環境

	基 数	構成比(%)
1 オフィスビルや商業ビル、 商店などがある地域	128	9.8
2 古くから住宅が 中心となっている地域	700	53.5
3 新しく開発された住宅地域	182	13.9
4 住宅と工場が 混在している地域	76	5.8
5 周囲に田畑や山林などの 森が残されている地域	134	10.2
6 その他	41	3.1
(無回答)	48	3.7
合 計	1,309	100.0

